

◎本ニュースレターは、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

7回目となるエコネット応援団の交流会「エコネットカフェ2024」を開催しました！ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。多くの方々にご参加いただき、過去最大規模の開催となりました。今回の交流会が、皆様の今後の活動に少しでもお役に立てれば、事務局としても嬉しく思います。参加できなかった方も、今号で雰囲気をお楽しみください♪

〔愛知県一宮市〕

2025年1月12日(日)

エコネット応援団の交流会 『エコネットカフェ2024』を開催しました！



自由交流▶

令和7年1月12日(日)に「エコネットカフェ2024 ー外来生物対策でつながる生態系ネットワークー」を一宮市スポーツ文化センターで開催しました。当日は、総勢83名、21団体の皆様に参加され、活発な意見交換が行われました。

第1部の活動発表では、外来生物対策に関連して、岐阜県での取り組みの紹介(岐阜県里川・水産振興課)、ハリヨ保全団体での取り組みの紹介(はりんこネットワーク)、イタセンパラをとりまく水辺の外来生物の紹介(環境省中部地方環境事務所)に加え、普段の活動の紹介として、イタセンパラカードゲームの紹介(愛知県立一宮高等学校生物部)や環境をテーマにした劇の取り組みの紹介(劇団シンデレラ)を行いました。応援団参加団体の取り組みについて、興味を持ってもらう良い機会になったかと思います。

休憩(自由交流)では、様々な団体が出展した活動に関わるポスターや資料を見たり、指標種をモチーフにしたお菓子などを楽しみながら、皆様それぞれ自由に意見交換や交流を行いました。

エコネットカフェ2024

プログラム 2025年1月12日(日) 13:00-16:00

12:30 受付開始

13:00 開会(事務局あいさつ)

13:10 【第1部】活動発表

- 外来種対策の報告(コクチバス) 岐阜県水産研究所(代理:事務局)
- 外来種対策等の活動報告(アメリカザリガニ) はりんこネットワーク
- 環境省における外来種対策 環境省中部地方環境事務所
- イタセンパラカードゲームの開発に関する活動報告 一宮高等学校生物部
- 環境に関する劇の公演等の活動報告 劇団シンデレラ

14:00 一休憩・自由交流ー

14:30 【第2部】1.事務局より趣旨説明

- 全体交流
- グループディスカッション
- 全体ディスカッション

15:45 総括(武田協議会長)

15:50 閉会(事務局 アンケート回収)

16:00 終了(16:30完全退場)



▲グループディスカッションの様子。

◀劇団シンデレラより環境をテーマにした劇の取り組みについて紹介しました。

▼過去にニュースレターで紹介したイタセンパラをモチーフにしたお菓子も登場。

第2部のグループディスカッションでは、外来生物問題や後継者問題など、今後の活動に関するテーマについて活発な話し合いが行われ、最後にグループごとにディスカッションの結果を発表しました。

締めくくりとして、木曾三川流域生態系ネットワーク協議会長の武田先生から総括をいただき、エコネットカフェ2024は無事終了いたしました。

参加した皆様からは「学生の意見を聞いて新鮮だった」「他の団体の活動内容を知ることができてよかった」「話が盛り上がり楽しかった」などの意見をいただいております。有意義な意見交換会となりました。来年度以降も引き続き実施したいと思います。

〔WEB開催〕

2024年12月21日(土)

助成金・顕彰制度を活用しよう！ 『顕彰制度ミニイベント』を開催しました！

愛知県立一宮高等学校生物部様より活動報告です！

本校生物部は、エコネット応援団に勧められて顕彰制度に応募したおかげで、幅広く活動できるようになり、様々な場面で活躍を報告できるようになりました。そのノウハウを、他の団体様にも知ってほしいと思い、応募当時の状況と応募した顕彰制度の分析、応募にあたって意識したことについて紹介しました。

当日は、紹介の後の意見交換にて、本校も学ぶことが多かったので、今後も応援団を活用し、団体同士が情報共有やアイデア・技術協力をしていけると良いと思います。

一宮高校生物部からの説明の様子▶

助成金・顕彰制度の活用を通じたエコネット応援団の活動活性化に向け、これまで受賞歴のある一宮高校からの発表、事務局からの制度紹介等を行い、アドバイスや意見交換を行いました。

各助成金分析

種類	全国	なごや生物多様性保全協議会 助成金	マリンチャレンジプログラム
対象	団体・個人	名古屋(愛知県)	関西地区(全国5ブロック)
部門	保全活動・調査研究・普及啓発	NPO法人または任意団体に、名古屋市とその周辺地域	ユース(10代)のみ
期間	1年(延長可能)	1年(延長可能)	半年・指導者の指導付き 一地方大会上位15件は 支援延長(半年・同額)
助成金上限	100万円	ユースは10万円	5万円(最大1万円)
助成件数	10件×3部門	明記なし(ユースは例年件数)	40件(全国は15件)
報告	中間報告+活動報告+会計報告	活動報告+会計報告(+発表)	地方大会(+全国大会)
締切	2/1~2/29	1月上旬~2月上旬	12/1~2月中旬
申請	申請書(押印書類・データCD-R)	申請書(押印書類)	web上での申請、職員控票書

(参加者) 愛知県立一宮高等学校生物部/岐阜県立大垣東高等学校理科数科ハリヨ班/岐阜県立岐阜高等学校/はりんこネットワーク/武田協議会長/事務局補助

環境省中部地方環境事務所
野生生物課様より
活動報告です！

木曽川水系イタセンパラ保護協議会 「第15回 イタセンパラの勉強会」を開催しました！



セミナーの様子。▶
多くの方とイタセン
パラをとりまく
環境について勉強
しました。

木曽川水系イタセンパラ保護協議会では、令和6年11月16日(土)に、第15回となる「イタセンパラの勉強会」を東山動植物園 世界のメダカ館で開催しました。勉強会は、地域の方々等にイタセンパラについての知識を深めてもらい、連携した取り組みを進めていくことを目的として行っています。本年度は、特に高校生のみなさんを中心に39名の方に御参加いただきました。

勉強会では、木曽川のイタセンパラと生物多様性保全についてのセミナー、イタセンパラの飼育施設見学を行いました。セミナーでは、一宮高校、羽島高校の皆さんにも日頃の活動報告をしていただきました。会場から活動について多くの質

疑もあり、とても良い経験になったのではないのでしょうか。

勉強会全体を通して参加者の皆様には、なぜイタセンパラを保全しなければいけないのか、保全にはどのような方法があるのか、どんな取り組みがなされているのかを理解してもらえたと思います。勉強会は、多岐に渡るイタセンパラの保全について、多くの知識や情報を得られる場になっていますので、今後も多くの方の御参加を期待します。

株式会社川瀬組様より
活動報告です！

木曽川におけるワンド環境について知ってもらうために 「ワンド環境学習会」を開催しました！

国土交通省
木曽川上流河川事務所より
活動報告です！

愛知県一宮市立起小学校にて開催

2024年11月21日(木)

岐阜県羽島市立中島小学校にて開催

2024年11月22日(金)

(株)川瀬組は、一宮市内の木曽川河川敷で開催された、木曽川水系イタセンパラ保護協議会の「ワンド環境学習会」に参加しました。当日は一宮市立起小学校の4年生約70人を対象に、国土交通省木曽川上流河川事務所の職員が、ワンドや河川工事について説明し、木曽川第二出張所管内の河川環境整備を施工する弊社社員が、重機の乗車体験やチェーンソーの実演などを行いました。

普段、間近で見ることのない建設機械に乗車して、大勢の子どもたちは大喜び。輪切りにした間伐材を珍しそうに手に取っていました。建設機械やチェーンソーなどに触れ合うことで、子どもたちが建設業や河川の自然環境に興味を持ってもらうきっかけになればと思います。

また、学習会では木曽川に生息する絶滅危惧種のイタセンパラに関する説明や魚類調査体験、尾西歴史民俗資料館による木曽川の歴史学習も行われました。

イタセンパラ保全の取り組みを進めている木曽川のワンドにおいて、イタセンパラを飼育している羽島市立中島小学校の4年生を対象に「ワンド環境学習会」が開催されました。

この学習会では、木曽川の自然に関するクイズを交えながら室内学習を行った後、木曽川ワンドに生息する魚の採捕体験やワンドの水質調査を行いました。

その中で、河川管理者である木曽川上流河川事務所からは、イタセンパラを守る取り組みとして、どのようなワンド整備を行っているか、整備を行うことでどのような効果があるのかを説明させていただきました。

参加した子どもたちからは「イタセンパラが希少であることが分かった」「ワンドやワンドに生息する魚を守るための工夫が分かった」などの感想をいただき、木曽川や生物と触れ合うことで、楽しくワンドの理解を深めることができる非常に良い学習会となりました。



▼ショベルの見学。ワンド施工で実際に使用される油圧ショベルを見学しました。



▲魚類調査体験。プールをワンドに見立てて魚類の採捕体験を行いました。

▼本物のワンドを見ながら、ワンド環境の問題点や環境改善の取り組みについて学習しました。



！ぜひご覧ください！
SNSで
情報を発信中！



Instagram



https://www.instagram.com/kiso_econet/



Facebook



<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曽三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曽三川流域生態系ネットワーク」
ホームページ

ニュースレターのバックナンバーはこちらから↑
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/econet/index.html>

